



優良住宅部品認定基準

Certification Standards for Quality Housing Components

光配線システム機器

Optical Fibre Cable System Components

BLS 0C:2013

2013年4月30日公表・施行

一般財団法人 **ニセーリビシタ**

目 次

優良住宅部品認定基準 光配線システム機器

I. 総則

1. 適用範囲
2. 用語の定義
3. 部品の構成
4. 材料
5. 施工の範囲
6. 寸法

II. 要求性能

- 1 住宅部品の性能等に係る要求事項
 - 1.1 機能の確保
 - 1.2 安全性の確保
 - 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保
 - 1.2.2 使用時の安全性及び保安性の確保
 - 1.2.3 健康上の安全性の確保
 - 1.2.4 火災に対する安全性の確保
 - 1.3 耐久性の確保
 - 1.4 環境に対する配慮（この要求事項は、必須要求事項ではなく任意選択事項である）
 - 1.4.1 製造場の活動における環境配慮
 - 1.4.2 光配線システム機器のライフサイクルの各段階における環境配慮
 - 1.4.2.1 材料の調達時等における環境配慮
 - 1.4.2.2 製造・流通時における環境配慮
 - 1.4.2.3 施工時における環境配慮
 - 1.4.2.4 使用時における環境配慮
 - 1.4.2.5 更新・取外し時における環境配慮
 - 1.4.2.6 処理・処分時における環境配慮
- 2 供給者の供給体制等に係る要求事項
 - 2.1 適切な品質管理の実施
 - 2.2 適切な供給体制及び維持管理体制等の確保
 - 2.2.1 適切な品質保証の実施
 - 2.2.2 確実な供給体制の確保
 - 2.2.3 適切な維持管理への配慮
 - 2.2.3.1 維持管理のしやすさへの配慮
 - 2.2.3.2 補修及び取替えへの配慮
 - 2.2.4 確実な維持管理体制の整備
 - 2.2.4.1 相談窓口の整備
 - 2.2.4.2 維持管理の体制の構築等
 - 2.2.4.3 維持管理の実施状況に係る情報の管理
 - 2.3 適切な施工の担保
 - 2.3.1 適切なインターフェースの設定
 - 2.3.2 適切な施工方法・納まり等の確保
- 3 情報の提供に係る要求事項
 - 3.1 基本性能に関する情報提供
 - 3.2 使用に関する情報提供
 - 3.3 維持管理に関する情報提供
 - 3.4 施工に関する情報提供

III. 附則

優良住宅部品認定基準

光配線システム機器

I. 総則

1. 適用範囲

集合住宅に用いられる住棟内光ファイバ配線設備（以下、住棟内光配線設備と呼ぶ）を構成する機器で、一般財団法人ベターリビングが制定した「集合住宅における自営光配線設備の設計基準」（平成 20 年 12 月 1 日）に基づき設計されたシステムに使用する自営 PT 盤、PD 盤、光アウトレット、各々に適用する。

2. 用語の定義

本基準で用いる用語の定義については以下のとおりとする。

- a) 自営 PT 盤（光成端箱）[PT: Premise Terminator]：棟内幹線ケーブルの起点となる配線盤をいう。光コネクタによるパッチパネルを有し、事業者の光ファイバ回線と相互接続する際の設備分界点となる。
- b) PD 盤（分岐配線盤，光接続箱）[PD: Premise Distributor]：棟内幹線ケーブル（または棟間ケーブル）と水平ケーブルとを接続する配線盤をいう。
- c) 光アウトレット（TO）[TO: Telecommunication Outlet]：水平ケーブルを成端し、端末接続配線へのインターフェイスを提供する接続器具。JIS X 5150-2004「構内情報配線システム」の通信アウトレットをいう。適用可能な設置環境の違いにより、室内用・隠蔽場所用に分かれる。
- d) 隠蔽場所：日常的に人の立入ることのない空間（例えば、点検口がある天井裏、扉のあるパイプシャフト、収納戸棚等）もしくは分電盤内部のような閉鎖された空間をいう。

3. 部品の構成

a) 標準的な構成機器は表－1～表－3による。

表－1 自営PT盤の構成機器

種類	部品・部材	構成の種別	特記事項
自営PT盤 (光成端箱)	筐体	●	
	施錠装置	●	施錠機能を備えたラック等に収納するものにあっては除く
	光アダプタまたはレセプタクル	●	設備分界点のコネクタはSC型とする
	光ファイバ心線収納部材	●	
	光ファイバケーブル引留め部材	●	
	ビス、ボルト等金具類	○	
	線番対照表	○	

表－2 PD盤の構成機器

種類	部品・部材	構成の種別	特記事項
PD盤 (光接続箱)	筐体	●	
	施錠装置	●	
	光ファイバ心線収納部材	●	
	光ファイバケーブル引留め部材	●	
	ビス、ボルト等金具類	○	
	線番対照表	○	

表－3 光アウトレットの構成機器

種類	部品・部材	構成の種別	特記事項
光アウトレット (TO)	筐体	●	
	光アダプタまたはレセプタクル	●	利用者側コネクタはSC型とする
	レーザ光曝露防護機構	●	
	線番対照表示装置・機能表示装置	○	

注)構成の別

- ：住宅部品としての基本機能上、必ず装備されていなければならない部品及び部材を示す。(必須構成部品)
- ：必須構成部品のうち、販売上必ずしもセットしなくてもよい部品及び部材を示す。(セットフリー部品)

b) 自営 PT 盤、PD 盤、光アウトレットの型式は表-4～表-6 による。

表-4 種類及び型式

種類	型式			
自営 PT 盤	壁掛型	SC 24 心	PTW-24	
		SC 48 心	PTW-48	
		SC 120 心	PTW-120	
		SC 160 心	PTW-160	
	19inch ラック収容型	SC 24 心	固定型	PTR-24F
			スライド型	PTR-24
		SC 48 心	固定型	PTR-48F
			スライド型	PTR-48
		SC 100 心	固定型	PTR-100F
			スライド型	PTR-100
	自立型	SC 48 心	PTV-48	
		SC 120 心	PTV-120	
		SC 300 心	PTV-300	
SC 1000 心		PTV-1000		

表-5 種類及び型式

種類	型式		
PD 盤	壁掛型	単心 8 心	PDW-8
		単心 12 心	PDW-12-24-40
		2 心テープ 24 心	
		4 心テープ 40 心	
		単心 24 心	PDW-24-48-60
		2 心テープ 48 心	
	4 心テープ 60 心		
	単心 48 心	PDW-48-96-120	
	2 心テープ 96 心		
	4 心テープ 120 心		
19inch ラック収容型	融着 24 心	固定型	PDR-24F
		スライド型	PDR-24
	融着 48 心	固定型	PDR-48F
		スライド型	PDR-48

表－6 種類及び型式

種類	型式			
光アウトレット (TO)	室内用 (汎用)	裏面コネクタ型	SC 単心	TOU-C-S
			SC 2心	TOU-C-D
		裏面メカスプ型	SC 単心	TOU-S-S
			SC 2心	TOU-S-D
		裏面融着型	SC 単心	TOU-F-S
			SC 2心	TOU-F-D
	隠蔽場所用	メカスプ成端型	SC 2心	TOC-S-D
			SC 2心+送り2心	TOC-S-2D
			SC 4心	TOC-S-Q
		融着成端型	SC 2心	TOC-F-D
			SC 2心+送り2心	TOC-F-2D
			SC 4心	TOC-F-Q

備考 SCコネクタのフェルルール研磨種別は、SPC(Super PC)を標準とする。

4. 材料

部品・部材に使用する材料の名称及び該当する規格等名称を明確化し、又は、同規格等と同等の性能を有していることを証明すること。

5. 施工の範囲

- a) 構成部品の施工範囲は、原則として以下とする。
- 1) 取付け下地の確認
 - 2) 機器取付け
 - 3) 光ケーブルとの接続
 - 4) 取付け施工後の調整、確認、検査

6. 寸法

自営 PT 盤、PD 盤、光アウトレットの外形寸法は、表－7～表－9の据付寸法に納まるものであること。

表－7 自営 PT 盤の据付寸法

種類	型式			据付寸法(mm)
自営 PT 盤	壁掛型	SC 24 心	PTW-24	H420×W420×D180
		SC 48 心	PTW-48	H1400×W600×D200
		SC 120 心	PTW-120	H1400×W600×D200
		SC 160 心	PTW-160	H1800×W600×D200
	自立型	SC 48 心	PTV-48	H1250×W700×D350
		SC 120 心	PTV-120	H1950×W700×D350
		SC 300 心	PTV-300	H1600×W780×D400
		SC 1000 心	PTV-1000	H2300×W900×D450

表－8 PD 盤の据付寸法

PD 盤	壁掛型	単心 8 心	PDW-8	H220×W330×D65
		単心 12 心 2 心テープ 24 心 4 心テープ 40 心	PDW-12-24-40	H270×W330×D65
		単心 24 心 2 心テープ 48 心 4 心テープ 60 心	PDW-24-48-60	H390×W440×D100
		単心 48 心 2 心テープ 96 心 4 心テープ 120 心	PDW-48-96-120	H850×W440×D100

表－9 光アウトレットの据付寸法

光アウトレット (TO)	室内用 (汎用)	裏面コネクタ型	SC 単心	TOU-C-S	JIS C 8316-1996「フラッシュプレート」に規定する連用プレートまたはワイドハンド形スイッチプレートのうち、1個用スイッチボックスのものに適合
			SC 2 心	TOU-C-D	
		裏面メスカップ型	SC 単心	TOU-S-S	
			SC 2 心	TOU-S-D	
		裏面融着型	SC 単心	TOU-F-S	
			SC 2 心	TOU-F-D	
	隠蔽場所用	メスカップ成端型	SC 2 心	TOC-S-D	H200×W130×D30
			SC 2 心+送り 2 心	TOC-S-2D	H200×W130×D40
			SC 4 心	TOC-S-Q	H200×W130×D40
		融着成端型	SC 2 心	TOC-F-D	H200×W130×D30
SC 2 心+送り 2 心			TOC-F-2D	H200×W130×D40	
SC 4 心			TOC-F-Q	H200×W130×D40	

II. 要求事項

1. 住宅部品の性能等に係る要求事項

1.1 機能の確保

a) 自営 PT 盤

1) 筐体

- ① 建物の床または壁に堅固に固定可能であり、自立型にあつては有効な耐震処理の行える構造であること。
- ② 「自営 PT 盤」が識別できる銘板を付されていること。

2) 光アダプタ

- ① JIS C 5973-2005「F O 4 形光ファイバコネクタ」に規定されるプラグが必要数以上、結合可能な構造であること。
- ② JIS C 5973 に規定されるアダプタと同等以上の性能を有すること。

3) 光ファイバ心線収納部材

- ① 融着接続またはメカニカルスプライス接続を行う場合には、光ファイバ心線が許容曲げ半径 15mm 以上で収納可能なこと。

4) 光ファイバケーブル引留め部材

- ① 光ケーブルが適切に把持できること。

5) 線番対照表

- ① 光アダプタにおいて、光コネクタの線番の対照が可能なこと。

6) 光学的性能

- ① 光コネクタのプラグが構成に含まれる場合、測定波長が 1550nm の時そのプラグの挿入損失は 0.5dB 以下、反射減衰量は 40dB 以上であること。

b) PD 盤

1) 筐体

- ① 建物の壁に堅固に固定可能であること。
- ② 「PD 盤」が識別できる銘板を付されていること。

2) 光ファイバ心線収納部材

- ① 光ファイバ心線が許容曲げ半径 15mm 以上で収納可能なこと。

3) 光ファイバケーブル引留め部材

- ① 光ケーブルが適切に把持できること。

4) 線番対照表

- ① 光ファイバケーブル引留め部材において、光ケーブルの線番の対照が可能なこと。

c) 光アウトレット (T0)

1) 筐体

【室内用】

- ① 単独取付及び、JIS C 8375-1992「大角形連用配線器具の取付枠」に接続取付けが可能なこと。
- ② 室内に設けられる他の住宅用配線器具と違和感無く、意匠が統一出来ること。

【隠蔽場所用】

- ① 各戸分電盤付属機器取付けスペース等、狭隘な空間に取付け可能であること。

2) 光アダプタまたはレセプタクル

【室内用】

- ① 利用者側コネクタとして JIS C 5973 に規定されるプラグが結合可能なこと。
- ② 利用者側コネクタが結合する部分は、JIS C 5973 に規定されるアダプタと同等以上の性能を有すること。

【隠蔽場所用】

- ① 利用者側コネクタとして JIS C 5973 に規定されるプラグが結合可能なこと。
- ② 利用者側コネクタが結合する部分は、JIS C 5973 に規定されるアダプタと同等以上の性能を有すること。

3) 線番対照表示機能・機能表示機能

【室内用】

- ① 光アダプタまたはレセプタクルにおいて、光コネクタの線番の対照が可能なこと。

【隠蔽場所用】

- ① 光アダプタまたはレセプタクルにおいて、光コネクタの線番の対照が可能なこと。

4) 光学的性能

【室内用】

- ① 光コネクタのプラグが構成に含まれる場合、測定波長が 1550nm の時そのプラグの挿入損失は 0.9dB 以下、反射減衰量は 40dB 以上であること。

【隠蔽場所用】

- ① 光コネクタのプラグが構成に含まれる場合、測定波長が 1550nm の時そのプラグの挿入損失は 0.9dB 以下、反射減衰量は 40dB 以上であること。

1.2 安全性の確保

1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保

a) 自営 PT 盤の機械的抵抗力・安定性

建物の床または壁に堅固に固定可能であり、自立型にあつては有効な耐震処置の行える構造であること。

b) PD 盤の機械的抵抗力・安定性

建物の壁に堅固に固定可能であること。

c) 光アウトレット (T0) の機械的抵抗力・安定性

【室内用】

光コネクタ部の結合部接続は、光アウトレットの使用状態において十分な強度を有すること。

【隠蔽場所用】

光コネクタ部の結合部接続は、光アウトレットの使用状態において十分な強度を有すること。

1.2.2 使用時の安全性及び保安性の確保

a) 自営 PT 盤の安全性・保安性

- 1) 不可視レーザー光使用設備であることの警告表示が、見やすく容易に消えない方法で施してあること。
- 2) 施錠機能

保守作業員以外、光ファイバ心線に容易にアクセスできない機能を有すること。ただし、19inch ラック収容型で、施錠機能付 19inch ラックに収納するものにあつては除く。

b) PD 盤の安全性・保安性

- 1) 不可視レーザー光使用設備であることの警告表示が、見やすく容易に消えない方法で施してあること。

2) 施錠機能

保守作業員以外、光ファイバ心線に容易にアクセスできない機能を有すること。ただし、光ファイバ心線への不必要なアクセスを防止出来れば「鍵」以外の手段でも良い。

c) 光アウトレット(T0)の安全性・保安性

【室内用】

1) レーザ光曝露防護機能

レーザ光曝露に対する確実な防護手段(第一の防護手段が故障・機能しなかった場合であっても、第二の防護手段がバックアップすることにより、人身の受傷を防止する構造)を具えていること。

2) 意図的でなければ、光ファイバ心線に容易にアクセスできない構造であること。

【隠蔽場所用】

1) レーザ光曝露防護機能

レーザ光曝露に対する防護手段を、少なくとも一つ以上具えていること。

(1.2.3 健康上の安全性の確保)

1.2.4 火災に対する安全性の確保

a) 自営PT盤の火災安全性

1) 難燃性を有すること。

b) PD盤の火災安全性

1) 難燃性を有すること。

c) 光アウトレット(T0)の火災安全性

1) 難燃性を有すること。

1.3 耐久性の確保

c) 光アウトレット(T0)【室内用】の耐久性

1) 光アダプタまたはレセプタクルは、コネクタの抜き差しに対して耐久性を有すること。

1.4 環境に対する配慮(この要求事項は、必須要求事項ではなく任意選択事項である)

1.4.1 製造場の活動における環境配慮

本項目を認定の対象とする場合は、製造場における活動が環境に配慮されたものであること。

1.4.2 光配線システム機器のライフサイクルの各段階における環境配慮

本項目を認定の対象とする場合は、次の項目に適合すること。

1.4.2.1 材料の調達時等における環境配慮

a) 環境負荷の低減に資する材料が調達され、又は環境負荷の低減に資するように配慮して材料が生産・製造されているなど、材料の調達時等における環境配慮の取組みの内容を認定の対象とする場合は、その内容を明確にすること。

1.4.2.2 製造・流通時における環境配慮

a) 製造及び出荷の際並びに流通させる際に、省エネルギー化を図るなど、製造・流通時における環境配慮の取組みの内容を認定の対象とする場合は、その内容を明確にすること。

1.4.2.3 施工時における環境配慮

- a) 施工する際に、環境負荷が増大しない方法で施工できるよう配慮するなど、施工時における環境配慮の取組みの内容を認定の対象とする場合は、その内容を明確にすること。

(1.4.2.4 使用時における環境配慮)

(1.4.2.5 更新・取外し時における環境配慮)

1.4.2.6 処理・処分時における環境配慮

- a) 適切にリサイクルや廃棄ができるよう配慮するなど、その他の処理・処分時における環境配慮の取組みの内容を認定の対象とする場合は、その内容を明確にすること。

2. 供給者の供給体制等に係る要求事項

2.1 適切な品質管理の実施

ISO9001、JIS Q 9001 又は同等の品質マネジメントシステムにより生産管理していること。

2.2 適切な供給体制及び維持管理体制等の確保

2.2.1 適切な品質保証の実施

- a) 保証書等の図書
- 1) 無償修理保証の対象及び期間を明記した保証書又はその他の図書を有すること。
- b) 無償修理保証の対象及び期間
- 1) 無償修理保証の対象及び期間は、次の部品を構成する部分又は機能に係る瑕疵（施工の瑕疵を含む）に応じ、一定の年数以上でメーカーの定める年数とすること。ただし、免責事項として次に定める事項に係る修理は、無償修理保証の対象から除くことができるものとする。

① 自営 PT 盤、PD 盤	5 年
② 光アウトレット (T0)	5 年

<免責事項>

- 1 住宅以外で使用した場合の不具合
- 2 ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
- 3 メーカーが定める施工説明書等を逸脱した施工に起因する不具合
- 4 メーカーが認めた者以外の者による住宅部品の設置後の移動・分解などに起因する不具合
- 5 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象
- 6 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- 7 ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
- 8 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
- 9 消耗部品の消耗に起因する不具合

2.2.2 確実な供給体制の確保

- a) 製造等についての責任体制及び確実な供給のために必要な流通販売体制が整備・運用されていること。

2.2.3 適切な維持管理への配慮

2.2.3.1 維持管理のしやすさへの配慮

- a) 使用者、維持管理者等による維持管理がしやすく、製品や取替えパーツの交換作業が行いやすい製品であること。

2.2.3.2 補修及び取替えへの配慮

- a) 構成部品について、取替えパーツ(消耗品である場合はその旨)について明確にしていること。
- b) 主要な構成部品について、設計耐用年数及びその前提を明確にしていること。
- c) 取替えパーツの部品名、形状、取替え方法等の情報を明示していること。また、取替えパーツのうち、消耗品については、交換頻度を明らかにすること。
- d) 住宅部品の生産中止後においても、取替えパーツの供給可能な期間を10年以上としていること。なお、機能代替品により10年以上の供給を行う物も含む。

2.2.4 確実な維持管理体制の整備

2.2.4.1 相談窓口の整備

- a) 施主・管理者等からの相談窓口を明確にし、その機能が確保されていること。
- b) 施主・管理者等からの相談窓口やメンテナンスサービスの担当者に対して、教育訓練を計画的に実施していること。

2.2.4.2 維持管理体制の構築等

- a) 維持管理体制が構築されているとともに、その内容を明確にしていること。

2.2.4.3 維持管理の実施状況に係る情報の管理

- a) 維持管理の実施状況等について、適切に情報を管理できるようになっていること。

2.3 適切な施工の担保

2.3.1 適切なインターフェイスの設定

- a) 自営PT盤の施工性
 - 1) 組立は確実で容易であること。
 - 2) シャフト内への取付け、光ファイバケーブルの取付けは、確実で容易であること。
 - 3) 光ファイバケーブルの成端作業が確実で容易であること。
- b) PD盤の施工性
 - 1) 組立は確実で容易であること。
 - 2) シャフト内への取付け、光ファイバケーブルの取付けは、確実で容易であること。
 - 3) 光ファイバケーブルの接続作業が確実で容易であること。
- c) 光アウトレット(T0)の施工性

【室内用】

- 1) JIS C 8375 に適合し、JIS C 8340-1999「電線管用金属製ボックス及びボックスカバー」または JIS C 8435-1999「合成樹脂製ボックス及びボックスカバー」に規定するアウトレットボックスを用いた埋込取付けにも対応可能なこと。
- 2) 光ファイバケーブルの接続作業が迅速かつ確実・容易であること。

【隠蔽場所用】

- 1) 電灯分電盤内等の狭隘なスペースに取り付け、光ファイバケーブルの成端作業ならびに余長収納作業が確実・容易であること。
- d) ケーブルの仕様
使用するケーブルは、「付属書 ケーブルの仕様」に基づいたものを使用すること。

2.3.2 適切な施工方法・納まり等の確保

- a) 適切な施工方法・納まりが適切に定められているとともに、施工上の禁止事項、注意事項、留意事項が定められていること。

3. 情報の提供に係る要求事項

3.1 基本性能に関する情報提供

- a) 少なくとも製品に関する機能性、安全性、耐久性、環境負荷低減等の部品に関する基本的な事項についての情報、並びに「集合住宅における自営光配線設備の設計基準」に基づき設計するシステムに使用するものであり、かつ、同基準が当財団のホームページで入手可能である旨わかりやすく表現され、かつ、カタログその他の図書又はホームページにより、提供されること。
- 1) 自営 PT 盤
 - ① 光コネクタのプラグが構成に含まれる場合にあつては光学的性能（挿入損失、反射減衰量）
 - ② 寸法・質量
 - ③ ケーブル接続数
 - ④ ケーブル接続端子形状
 - ⑤ 設置方法
 - 2) PD 盤
 - ① 寸法・質量
 - ② ケーブル接続数
 - ③ ケーブル接続端子形状
 - 3) 光アウトレット
 - ① 光コネクタのプラグが構成に含まれる場合にあつては光学的性能（挿入損失、反射減衰量）
 - ② 寸法・質量
 - ③ 設置場所
 - ④ ケーブル接続端子形状
 - ⑤ 施工上の留意点

3.2 使用に関する情報提供

- a) 少なくとも次の使用に関する情報が、わかりやすく表現されている取扱説明書、及び保証書により所有者に提供されること。
- 1) 誤使用防止のための指示・警告
 - 2) 事故防止のための指示・警告
 - 3) 製品の使用方法
 - 4) 製品に関する問い合わせ先
- b) 無償修理保証の対象及び期間を記載した保証書又はこれに相当するものがわかりやすく表現されており、かつ、所有者に提供されること。
- c) 上記保証書等には、部品及び施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険の付されていることが明記されていること。

3.3 維持管理に関する情報提供

- a) 少なくとも次の維持管理に関する情報が、わかりやすく表現され、かつ、容易に入手できるカタログその他の図書又はホームページにより、維持管理者等に提供されること。
- 1) 製品の維持管理内容（品質保証内容及び保証期間を含む）や補修の実施方法
 - 2) 取替えパーツの交換方法、生産中止後の取替えパーツの供給可能な期間

- 3) 清掃方法や清掃時の注意事項
- 4) 施主・維持管理者等相談窓口

3.4 施工に関する情報提供

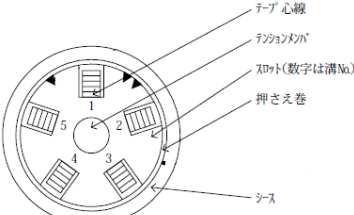
- a) 少なくとも次の施工に関する情報が、わかりやすく表現されている施工説明書により、施工者に提供されること。
 - 1) 「2.3.2 適切な施工方法・納まり等の確保」に係る情報が、わかりやすく表現されている施工説明書により、施工者に提供されること。
 - 2) 品質保証に関する事項
 - ① 施工の瑕疵に係る無償修理保証の対象及び期間
 - ② 保険の付保に関する事項
 - i) 当該部品には、部品及び施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険の付されていることが明記されていること。
 - ii) 施工説明書等で指示された施工方法を逸脱しない方法で施工を行った者は、上記保険の被保険者として、施工に関する瑕疵担保責任及び施工の瑕疵に起因する損害賠償責任を負う際には保険金の請求をできることが明記されていること。

Ⅲ. 附則

1. この認定基準（光配線システム機器 BLS OC：2013）は、2013年4月30日から施行する。
2. この認定基準の施行に伴い、改正前の認定基準（光配線システム機器 BLS OC：2008）は廃止する。
3. この認定基準の施行の日に、既に改正前の認定基準に従って認定又は変更の準備を行っていた者については、この認定基準の施行の日から3か月を超えない日までは、改正後の認定基準を適用しないものとする。
4. この認定基準の施行の日以前に既に改正前の認定基準に従って優良住宅部品認定規程第16条第1項の認定を受けており（3.により施行の日以後に改正前の認定基準を適用して認定を受けた場合を含む。）、かつ、認定が維持されている優良住宅部品に係る認定基準は、優良住宅部品認定規程第28条第1項の期間内においては、改正前の当該認定基準を適用する。

付属書 ケーブルの仕様

[棟間内幹線ケーブル]

構造種別	光ファイバ種別	心数他	型式	標準外径	標準質量	テンションメンバ材質	最大許容張力	シース材質
層型 	0.9 心線	1～12 心 遮水	CSL-■-LAP	12mm	130kg/km	鋼線	800N	LAP (アルミラミネートテープ及びポリエチレン)
		1～12 心 難燃遮水	CSL-■-LAP -FR	12mm	150kg/km	鋼線	800N	LAP (アルミラミネートテープ及び難燃ポリエチレン)
SZ スロット型 	4 心テープ心線	4～100 心 防水	CSZ-S15-4T■-WB	14mm	150kg/km	鋼線	2440N	ポリエチレン
		4～100 心 難燃防水	CSZ-S15-4T■-WBFR	14mm	180kg/km	鋼線	2440N	難燃ポリエチレン
		104～200 心 防水	CSZ-S15-4T■-WB	17.5mm	220kg/km	鋼線	2440N	ポリエチレン
		104～200 心 難燃防水	CSZ-S15-4T■-WBFR	17.5mm	250kg/km	鋼線	2440N	難燃ポリエチレン
		204～300 心 防水	CSZ-S15-4T■-WB	22mm	360kg/km	鋼線	3120N	ポリエチレン
		204～300 心 難燃防水	CSZ-S15-4T■-WBFR	22mm	390kg/km	鋼線	3120N	難燃ポリエチレン

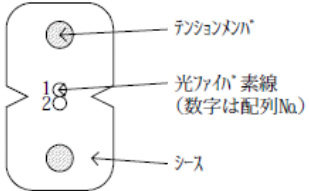
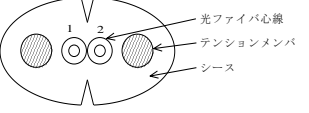
凡例 型式内の「■」には、ファイバ心数を指定する。

[棟内幹線ケーブル]

構造種別	光ファイバ種別	心数他	型式	標準外径	標準質量	テンションメンバ材質	最大許容張力	シース材質
<p>層型</p>	0.9mm 心線	1~12 心 難燃遮水	CSL-■-LAP-FR	12mm	150kg/km	鋼線	800N	LAP (アルミラミネートテープ及び難燃ホリエチレン)
<p>SZ スロット型</p>	0.25mm 心線	1~40 心 難燃	CSZ-S15-■-FR	13.5mm	160kg/km	鋼線	900N	難燃ポリエチレン
		41~100 心 難燃	CSZ-S15-■-FR	15mm	195kg/km	鋼線	900N	難燃ポリエチレン
	2心テープ心線	2~24 心 難燃	GSZ-S15-2T■-FR	12mm	115kg/km	鋼線	1180N	難燃ポリエチレン
		26~48 心 難燃	GSZ-S15-2T■-FR	13.5mm	170kg/km	鋼線	2440N	難燃ポリエチレン
		50~128 心 難燃	GSZ-S15-2T■-FR	16.5mm	240kg/km	鋼線	2910N	難燃ポリエチレン
	4心テープ心線	4~100 心 難燃	GSZ-S15-4T■-FR	14mm	180kg/km	鋼線	2440N	難燃ポリエチレン
		104~200 心 難燃	GSZ-S15-4T■-FR	17.5mm	250kg/km	鋼線	2440N	難燃ポリエチレン
		204~300 心 難燃	GSZ-S15-4T■-FR	22mm	390kg/km	鋼線	3120N	難燃ポリエチレン

凡例 型式内の「■」には、ファイバ心数を指定する。

[水平ケーブル]

構造種別	光ファイバ種別	心数 コネクタ有無	型式	標準寸法	標準質量	テンション メンバ材質	最大許 容張力	最小許容 曲げ半径	シース材質	
<p>インドアケーブル平型</p> 	0.25mm 心線	1心 コネクタなし難燃	CIF-S15-1-FR	2.0×3.0mm	10kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
		1心 片端 SC 付難燃	CIF-S15-1SC-●-FR	2.0×3.0mm	10kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
		2心 コネクタなし難燃	CIF-S15-2-FR	2.0×3.0mm	10kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
		2心 片端 SC 付難燃	CIF-S15-2SC-●-FR	2.0×3.0mm	10kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
	2心テープ	2心 コネクタなし難燃	CIF-S15-2T-FR	2.0×3.7mm	10kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
		2心 片端 SC 付難燃	CIF-S15-2TSC-●-FR	2.0×3.7mm	10kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
	4心テープ	4心 コネクタなし難燃	CIF-S15-4T-FR	2.0×3.7mm	10kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
		4心 片端 SC 付難燃	CIF-S15-4TSC-●-FR	2.0×3.7mm	10kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
	<p>インドアケーブル丸型</p> 	0.25mm 心線	1心 コネクタなし難燃	CIR-S15-1-FR	3.0×3.5mm	12kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン
			1心 片端 SC 付難燃	CIR-S15-1SC-●-FR	3.0×3.5mm	12kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン
2心 コネクタなし難燃			CIR-S15-2-FR	3.0×3.5mm	12kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
2心 片端 SC 付難燃			CIR-S15-2SC-●-FR	3.0×3.5mm	12kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
2心テープ		2心 コネクタなし難燃	CIR-S15-2T-FR	3.0×3.5mm	12kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	
		2心 片端 SC 付難燃	CIR-S15-2TSC-●-FR	3.0×3.5mm	12kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン	

凡例 型式内の「●」には、ケーブル条長(m)を指定する。

構造種別	光ファイバ種別	心数 コネクタ有無	型式	標準寸法	標準質量	テンション メンバ材質	最大許 容張力	最小許容 曲げ半径	シース材質
	4心テープ	4心 コネクタなし難燃	CIR-S15-4T-FR	3.5×4.0mm	17.5kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン
		4心 片端 SC 付難燃	CIR-S15-4TSC-●-FR	3.5×4.0mm	17.5kg/km	鋼線	150N	15mm	難燃ポリエチレン
ターミネーションケーブル (1.5mmコード)		1心 コネクタなし難燃	CTM15-S15-1-FR	3×4mm	20kg/km	鋼線	100N	30mm	難燃ポリエチレン
		1心 片端 SC 付難燃	CTM15-S15-1-●-FR	3×4mm	20kg/km	鋼線	100N	30mm	難燃ポリエチレン
		2心 コネクタなし難燃	CTM15-S15-2-FR	3×6mm	25kg/km	鋼線	100N	30mm	難燃ポリエチレン
		2心 片端 SC 付難燃	CTM15-S15-2-●-FR	3×6mm	25kg/km	鋼線	100N	30mm	難燃ポリエチレン
ターミネーションケーブル (1.7mmコード)		1心 コネクタなし難燃	CTM17-S15-1-FR	3.5×6.5mm	30kg/km	鋼線	220N	35mm	難燃ポリエチレン
		1心 片端 SC 付難燃	CTM17-S15-1-●-FR	3.5×6.5mm	30kg/km	鋼線	220N	35mm	難燃ポリエチレン
		2心 コネクタなし難燃	CTM17-S15-2-FR	3.5×6.5mm	30kg/km	鋼線	220N	35mm	難燃ポリエチレン
		2心 片端 SC 付難燃	CTM17-S15-2-●-FR	3.5×6.5mm	30kg/km	鋼線	220N	35mm	難燃ポリエチレン
		4心 コネクタなし難燃	CTM17-S15-4-FR	5×11mm	60kg/km	鋼線	220N	50mm	難燃ポリエチレン
		4心 片端 SC 付難燃	CTM17-S15-4-●-FR	5×11mm	60kg/km	鋼線	220N	50mm	難燃ポリエチレン

凡例 型式内の「●」には、ケーブル条長(m)を指定する。

注1：使用する光ファイバは JIS C 6835 の SMA・U に準拠し、且つ、光ファイバの許容曲げ半径が 15mm であること。

注2：棟間内幹線ケーブルおよび棟内幹線ケーブルの寸法は、表記載の標準値の+10%を超えないこと。

注3：水平ケーブルの寸法は、表記載の標準値の-20%以上、+30%以下であること。

注4：ケーブルの質量は、表記載の標準値の+10%を超えないこと。

注5：ケーブルの最大許容張力は、表記載の標準値の-10%を下回らないこと。

優良住宅部品認定基準（光配線システム機器）

解 説

この解説は、「優良住宅部品認定基準（光配線システム機器）」の改正内容等を補足的に説明するものである。

I 今回の改正内容

1. 保証における免責事項の基準内への記載
2. 引用 J I S 規格年度の更新
3. 適切な施工の担保及び情報提供の変更

II 基準改正の履歴

【2008年12月1日公表・施行】

1. 適用範囲の変更【I 1】
2. 設計基準の位置付けを明確化【別添】
3. 凡例追加及び誤記訂正【付属書】
4. 附則の追記